

文献シリーズの復刊にあたって

つつい として
筒井 利子

(三田メディアセンター主任)

三田メディアセンターが刊行する「文献シリーズ」は、図書館が所蔵するコレクションや特定のテーマに関する文献目録、記事索引、解題、図録を小冊子にまとめたものである。1969（昭和44）年に刊行された『EEC（ヨーロッパ経済共同体）に関する文献目録1963-1968』（No.1）からはじまり、断続的に2001（平成13）年の『江戸・明治 京都の天気表5』（No.30）まで続いたが、その後長らく刊行が休止していた。以下、今までに刊行されたシリーズの一覧を挙げる。

<文献シリーズ一覧>

- 1 EEC（ヨーロッパ経済共同体）に関する文献目録 1963-1968
- 2 外国企業の日本進出に関する文献目録 1
- 3 The bibliography of nationalism in Tropical Africa 1958-1968
- 4 地域研究文献目録 1958-1968
- 5 中ソ論争文献集 1963-68
- 6 アメリカの対アジア政策に関する国内文献目録 1963-1969
- 7 日中関係（政治・経済）文献目録 1962-1969
- 8 アメリカの対アジア政策に関する外国文献目録 1967-1969
- 9 企業合併に関する外国文献目録
- 10 手形法・小切手法
- 11 経済学関係記念論文集記事索引 単行本の部（個人編）
- 12 江戸期地誌紀行類目録稿：含 寺社略縁起類
- 13 外国語辞書目録 アジア・アフリカ語篇
- 14 寺社略縁起類解題
- 15 江戸切絵図 尾張屋清七版 出場限朱引入
- 16 高橋誠一郎浮世絵コレクション目録
- 17 高橋誠一郎浮世絵コレクション
- 18 George S. Bonn 蒐集 明治錦絵コレクション
- 19, 20 江戸時代の寺社境内絵図 上・下
- 21 大阪町絵図 大阪北組旧蔵
- 22 広重 東海道錦絵を読む

- 23, 24 日本古刊本図録 上・下
- 25 江戸時代の寺社境内絵図 補遺編
- 26~30 江戸・明治・京都の天気表 1~5

一覧を見ると刊行当初は、特定分野の文献目録が中心で、その後、解題や図録、コレクション目録へと内容が移っていることがわかる。また、高橋誠一郎旧蔵浮世絵など大型コレクションの受入れ後には、コレクションの公開を兼ねた目録や図録として刊行されている。この「文献シリーズ」がこのたび約12年ぶりに復刊の運びとなり、2013年には復刊第1号となるNo.31『慶應義塾図書館所蔵奈良文庫目録』（2013年3月発行）が刊行された。

奈良文庫は、図書館が所蔵する奈良鹿郎（ならしかろう 1889~1960 本名：秀治）氏の俳諧関係の旧蔵書950点のコレクションである。資料は1974（昭和49）年にご遺族から譲り受け、全点が準貴重書として収蔵されている。奈良氏は、1889（明治22）年神奈川県に生まれ、大阪商船株式会社役員、瀬戸内海観光貿易社長などを歴任する傍ら、1921（大正10）年門司在住の頃に俳句を吉岡禅寺洞に師事し、のちに高浜虚子門下として「ホトトギス」に投稿、研究者としても同誌に研究論文を発表するなど活躍した。旧蔵書は奈良氏が大阪商船株式会社役員時代に収集した資料を中心とした江戸時代の俳諧関係資料である。解題に森武之助「奈良文庫俳諧書解題」（鶴見大学紀要 第1部 国語・国文学篇 no.15~19, 1978~1980）があるものの、独立した目録がこれまで編纂されていなかった。そこで、文庫の総点数が950点と小冊子として刊行するのに適した量であることと、冊子のほうがコレクションの全体像を把握しやすく、分類項目ごとに通覧しやすいことなどから、長らく休止していた「文献シリーズ」として刊行することになった。この目録の記載内容は、2009年に刊行した『慶應義塾図書館和漢貴重書目録』の準備段階で作成したデータシートをもとにしており、奈良文庫全点を詳細に調査し、注記には印記や序跋のほか俳諧資料特有の特記事項も載せている。

奈良文庫の資料は『俳諧大辞典』やその他の目録にも未掲載のものが多く、今回の文庫目録の刊行によりいっそう活用されることが期待される。



図1. 奈良文庫目録表紙

図2. 奈良文庫目録の本文

三田メディアセンターでは、今後も継続的に「文献シリーズ」を刊行していく予定であり、次のNo. 32は『慶應義塾図書館所蔵ドイツ語雑誌解題—経済・社会・歴史を中心に—』(2013年9月発行)である。復刊された「文献シリーズ」を、紙媒体の持つ一覧・通覧性というメリットを活かしたレファレンスツールとして、学内外の多くの学生、研究者及び図書館員に利用していただければ幸いである。